



協定書にサインを交わした一法師淳副社長（左）と小沢昌記市長

市は11月18日、㈱NTTファシリティーズ（本社・東京都、筒井清志社長）と「メガソーラー設置・運営事業に関する基本協定」の調印式を行いました。

この事業は、前沢区の「奥州万年の森」に約15メガワット（一般家庭約4千世帯分の消費電力）の大規模な太陽光発電施設の設置を行うもので、樹木伐採を最小限に抑え、遊歩道を設置するなど自然との共生に配慮した事業を20年にわたり進めます。

小沢市長は「同社の経験と実績は十分に頼りにしている」と期待を寄せました。

「メガソーラー設置は㈱NTTファシリティーズ」



自ら平泉ナンバーを取り付ける運転手

ご当地ナンバーの「平泉ナンバー」が11月17日から交付開始となったことを記念して、平泉ナンバー出張交換会が11月22日と23日の両日、本市と一関市、平泉町、金ケ崎町の各会場それぞれ行われました。

この交換会は奥南4市町の商工団体などで組織する平泉ナンバーを実現する会（会長・宇部貞宏一関商工会議所会頭）と各自治体が共同で実施。本市会場となった23日の奥州地区合同庁舎の駐車場には、事前申し込みをした73台が次々と到着し、真新しい平泉ナンバーへの交換を行いました。

「走りながらPR「平泉ナンバー」交付開始」



市民からの質問に答える北折氏

健康づくり特別講演会「ガッテン流！健康セミナー」（胆江地区国保協議会主催）が12月15日、江刺総合支所で開催されました。元NHK科学・環境番組専任ディレクターで「ためしてガッテン」を担当した北折一氏が「お手軽健康づくり〜ここから始める〜」と題し講演。

北折氏は、毎日朝晩に体重を記録する「計るだけダイエット」を紹介。「1日50gのゆっくりとした減量で、太りにくい体になる」など、こつや効果などを語りました。

「体重が減る喜びを感じる」



オープンを記念して無料開放されたリフト

市内3カ所のスキー場（越路、ひめかゆ、国見平）が12月20日、そろって今シーズンの営業を開始しました。

この日は積雪約70センチと、近年にない絶好のコンディションに恵まれた胆沢区のひめかゆスキー場では、安全祈願祭とオープン式に小沢市長が出席し「事故のない、お客様の笑顔が満点のシーズンに」とあいさつ。テープカット後にリフトが稼働すると、待ちわびたスキーヤーとスノーボーダーが次々にリフトへ乗り込み、意気揚々と頂上を目指していました。

「市内3スキー場が一斉オープン」



熱心に話を聞く小山中の生徒たち

本市の将来を担う子どもたちに、I L Cや宇宙、科学に興味をもってもらうために実施した「中学校I L C出前授業」。5月20日に田原中学校

（川邊秀樹校長、生徒19人）から授業がスタートし、全28回の授業で市内の中学2年生1147人が受講しました。

この授業は、理科や科学の面白さを伝える活動の実績が豊富なNPO法人イーハートブ宇宙実践センターに市が委託して実施。同センターのサイエンススクール講師がI L C計画の概要やI L Cの実現によって期待されることなどを解説したほか、生徒たちから寄せられた環境や安全性についての質問に、丁寧に答えました。

また、国立天文台（林正彦台長）の協力を得て同台の研究者が、天文学や水沢V L B

「中学校I L C出前授業」は、12月12日に行った小山中学校（阿部正孝校長、生徒204人）の授業で本年度の全日程を終了しました。今回は、この授業と前沢図書館の企画展についてお知らせします。

「観測所の研究内容などについて詳しく解説する授業も実施しました。」

生徒たちは、授業の中で「I L Cの研究に携わりたい」「科学技術の発展や地域活性化に期待したい」などと発表し、I L C計画の実現に大きな期待を寄せていました。

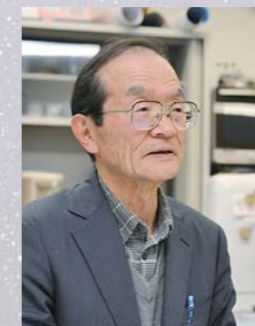
市は、この授業を3年間継続する予定です。今後も多くの中学生にI L Cや宇宙、科学の魅力を伝えていきます。

- 生徒たちから寄せられた声
- ▷ I L Cが実現し、この地域が世界から注目される場所になってほしい
 - ▷ 海外の人たちと交流し、さまざまな文化に触れてみたい
 - ▷ 医療関係に興味があり、この分野でI L Cに関わりたい
 - ▷ 勉強を頑張ってI L Cの仕事に就きたい
 - ▷ 岩手の自然を生かし、緑がきれいな国際都市になってくれればうれしい
 - ▷ 私たちが、地元について詳しく知っておくことも大切だと感じた
 - ▷ I L Cにより、岩手をもっと発展してほしい
 - ▷ I L Cでの研究成果が楽しみ
 - ▷ 経済・文化が成長することで、雇用の場が増え、地元でも多くの人々が働けるようになって欲しい

市立前沢図書館（小野寺正幸館長）は、12月2日から1月18日まで企画展「もっと知りたいI L C」を開催。同企画展では、I L C計画についてのパネルや建設候補地の立体空中写真、関連図書などを展示しています。

企画展の関連イベントとして12月20日には「親子で学ぼうI L C」と題した講演会を開催。親子連れなど参加した14人は、講師の話に興味深そうに聞いていました。

関連図書のコーナーには、科学を楽しく学べる図書が充実。冬休みの自由研究の参考にもなりますので、ぜひ足をお運びください。



interview
出前授業を終えて
NPO法人イーハートブ宇宙実践センター
理事長 大江 昌嗣 (73)



希望のひかり 第26回

市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、I L C）計画」について最新情報をお届けします



講演会終了後、子どもたちは企画展を見学

本コーナーでは、I L C計画について皆さんの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽にご質問ください。お問い合わせ先：本庁政策企画課「I L C推進室」（内線412・415） ①02533 ②city.oshu.wate.jp